

1人1台端末の活用による実践事例

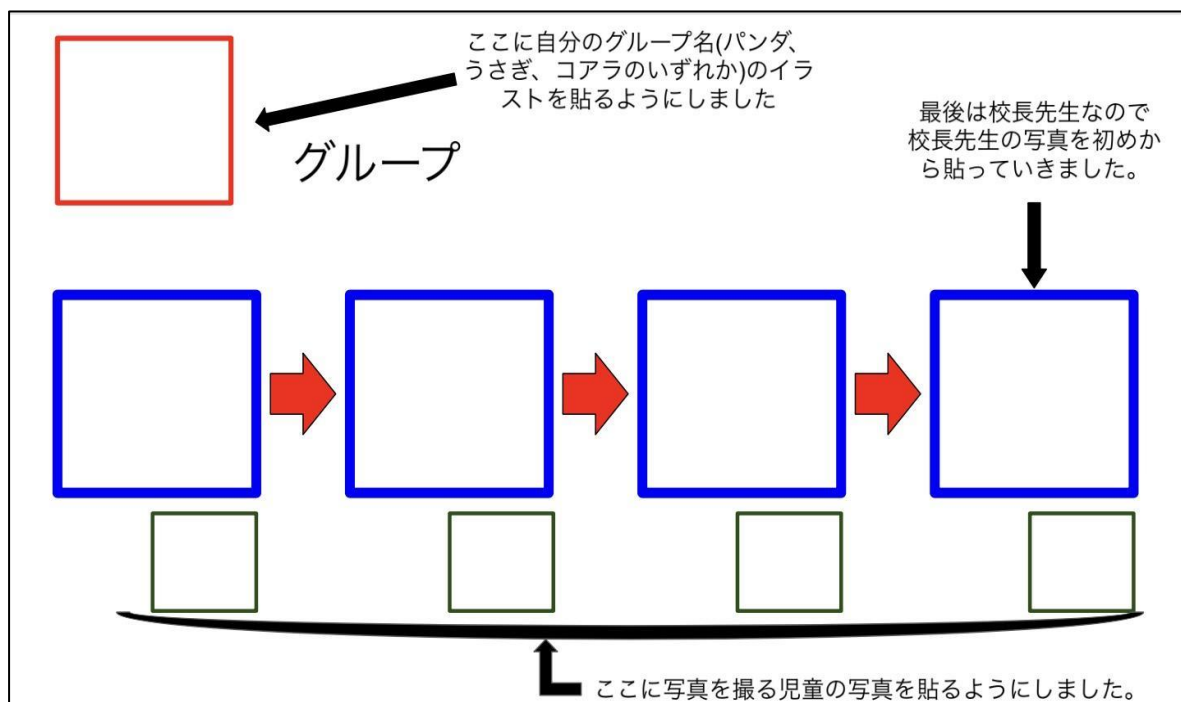
(特別支援学校)

学校名	岡山県立岡山南支援学校	実践者名	松本武倫
実践場面 (教科、領域、行事等)	生活単元学習		
単元・題材名	グループミッションに挑戦しよう ～お世話になっている先生の写真を撮影しに行こう！～		
学習目標・ねらい	○グループで撮影しに行く先生の順番を相談し、決めることができる。 ○グループで先生の写真を撮り、みんなで達成できた経験を積むことができる。		
対象の児童 生徒の実態	小学部6年生、男児8名、女児4名		

活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する

- (1) 本時の学習内容を理解する。
 - ・お世話になっている先生の写真を見て、名前を答える。
 - ・グループで役割分担をして写真を撮影しに行くことを知る。
- (2) グループのメンバーを知る。
 - ・「パンダ、うさぎ、コアラ」の3つに分かれる。
 - ・「パンダ、うさぎ、コアラ」の歌を聞き、自分のグループの動物名が歌詞で登場したときに起立をするゲームを行い、メンバーを確認する。
- (3) グループで撮影しに行く先生の順番を相談する。
 - ・経路ボードにまとめる。（最後は校長先生の写真を撮影しに行く）

【経路ボード】



(4) 写真を撮影しに行く。

- ・相談が終わったグループから写真を撮影しに行く。
- ・最後に校長先生の写真を撮ったら、校長先生からミッション達成の商品であるメダルを一人一人もらう。

(5) 振り返りを行う。

- ・グループごとに撮影した写真を発表する。
- ・全員で撮影しに行く先生の順番を相談して決められたことや、協力してミッションに挑戦したことで校長先生からメダルがもらえたことを振り返る。

活用のポイント・改善策等

- ・児童が興味のある iPad を使用することで、授業に興味関心がもてるようにした。意欲的に学習に取り組むことができたり、友達の撮った写真を自ら見ようとしたりする様子があった。
- ・iPad を持って写真を撮ることが難しい児童が実態に応じていたため、自分で写真が撮れるような支援やグッズを工夫して準備する必要があると感じた。